

後期の授業の紹介(3コース共通科目)

後期の授業が始まり、もうすでに半分近く終わってしまいました。後期は、前期に比べて共通科目が減り、コース別の授業が増え、コース毎の専門性を高めています。今回は、共通科目やコース別の授業を紹介します。

科目名	概要
生徒指導・学校カウンセリングの基礎と課題 (下田先生・日野先生)	行動分析についての学習を活かし、発達上の課題やメンタルヘルスの問題について考えています。授業では、講義だけでなく、ディスカッションやロールプレイを行うことでより深い理解へとつなげています。
教科等における ICT 利活用の基礎と課題 (堤先生・中村先生)	国や県内の ICT 利活用教育に関する動向について学んでいます。その中で、現職教員による実践発表やストレートマスター(以下、ストマス)による新学習指導要領を踏まえたこれからの ICT 利活用の提案等を通して、よりよい活用方法を探っています。
地域と連携する学校づくりの基礎と課題 (上野先生・日山先生)	「地域と連携する学校」に対する各個人の問題意識を出し合い、そもそも学校と地域のつながりとはどういうものだったのかについて学んでいます。地域と連携した学校づくりの意義と目的を理解し、地域に開かれた学校づくりの課題を探っています。

各コース別の後期の授業紹介

<p>○授業実践探究コース</p> <p>後期に入り、「授業実践の研究」という講義の中で、実際に附属小学校で道徳の授業を参観しました。その後グループに分かれて、授業分析を行っています。来年には自身の研究授業を行い、一人で分析を行わなければなりません。今回の授業分析の活動を通して、一人一人の分析の技術を高められるよう取り組んでいます。また、選択授業も2コマあり、自分の興味がある分野の授業や、他教科の先生の授業も受けることができ、大変充実しています。</p>	<p>○教育経営探究コース</p> <p>「学校経営課題探究の方法論」では、課題図書①「質的調査法入門」、②「教育のエスノグラフィ」、③「学校のエスノグラフィ」を通して、質的調査法とその記述(執筆)方法について学んでいます。この授業のゴールは、来年度の学校変革実習に向けた「リサーチプロポーザル」(研究計画書)を完成させることです。そのために、現任校の課題分析や先行研究のレビュー、来年度の実践計画等を作成し、経営コース内で研究構想の発表会を行っています。</p>	<p>○子ども支援探究コース</p> <p>「発達障害を持つ子どもの理解と支援」では、学習や生活におけるつまずきの要因を明らかにするためのアセスメントの方法を学びます。また、子どもの指導・支援に生かすための個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成を通して、一人一人が抱える中心の課題に迫りながら、具体的な指導・支援方法を作り出し、その効果の検討を行います。校内の気になる子がよりよい学校生活を送るために、校内外の連絡調整役としての働きかけ方を習得でき、すぐに実践に生かせる学びを行っています。</p>
--	---	---

🎂 11月の誕生日会 🍰

11月はストマスのM君の誕生日会を行いました。そして、12月はM君の師匠、我らがO先生の誕生日も待っています。M君が何をしてくれるか楽しみですね。

